

## 特別講演 2 抄録

---

「放射線治療の魅力と将来」

浜松医科大学  
放射線腫瘍学講座  
中村 和正

放射線治療は近年非常に進歩しています。体幹部定位放射線治療(stereotactic body radiation therapy, SBRT)、強度変調放射線治療(intensity-modulated radiation therapy, IMRT)、画像誘導放射線治療(image-guided radiation therapy, IGRT)、体表面誘導放射線治療(Surface-guided radiation therapy)などの高精度放射線治療技術が導入され、患者さんに優しい放射線治療が実現できるようになりました。本講演では、実際の症例を提示しながら、皆さんと一緒にどのように治療すべきかを考えていきたいと思えます。

さて、浜松は昔からものづくりが盛んな町で、そのような地域にある浜松医科大学でも産学連携活動がとても盛んです。私は、現在、産学連携・知財活用推進センター長を拝命しており、医学部での産学連携活動にも携わっています。また令和4年4月には、次世代創造医工情報教育センターが浜松医科大学に新設されました。この新しいセンターは、アントレプレナーシップ教育やAI・データサイエンス教育を行うことを主な目的としており、手探りではありますが、普通の医学教育とは少し異なった、様々な活動をしています。講演の後半では、このような活動を紹介し、放射線治療の将来や、今後の医療スタッフのあり方などを一緒に考えていければと思います。

皆様と浜松でお会いできることを楽しみにしております。

---

### 講師紹介

診療科長 中村和正 教授 ([nakam@hama-med.ac.jp](mailto:nakam@hama-med.ac.jp))



1988年 九州大学医学部 卒業  
1996年 九州大学放射線科 助手  
1997年 カロリンスカ研究所 研究員  
2007年 福岡大学病院 講師  
2009年 九州大学病院別府先進医療センター 准教授  
2011年 九州大学 准教授  
2015年 浜松医科大学放射線腫瘍学講座 教授  
2022年 浜松医科大学副学長  
(共創・イノベーション担当)・次世代創造医工情報教育センター長